

## 移住・二地域居住の推進 ～若者の県内就業促進～

若者の県内就業促進ワーキンググループ

### 1. これまでの経過

- H27. 5. 28 第 9 回県と市町村との協議の場（ワーキンググループ設置の提案）  
 H27. 8. 11 第 1 回ワーキンググループ会議  
 H27. 10. 9 第 2 回ワーキンググループ会議  
 H27. 11. 24 第 10 回県と市町村との協議の場（中間報告）

（中間報告）

- 信州に暮らし、県内企業で働くことで得られる充実感を、学生やその両親に紹介する施策を産官学が連携して実施
- 具体的な方法等について、引き続きワーキンググループで検討

- H28. 3. 24 第 3 回ワーキンググループ会議

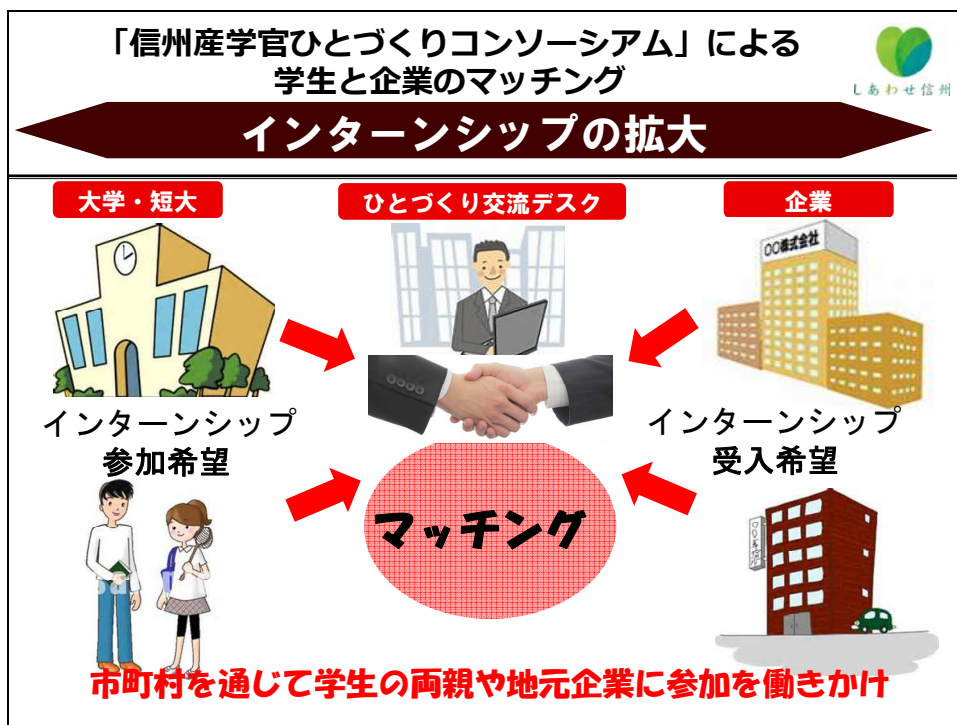
### 2. 中間報告の取組状況

平成 28 年度より新たに以下の取組を実施

#### (1) インターンシップの充実

インターンシップの場を提供する企業等の発掘に努め、学校・学生に広く提供

#### ① 信州産学官ひとづくりコンソーシアムによる学生と企業のマッチング



② 県内学生に対する海外インターンシップ経費の助成（1人20万円上限）



③ 明治大学など首都圏の大学と連携した、インターンシッププログラムとキャリア教育を組み合わせたモデル事業の実施

- ・ 大学と地元受入企業等で研究会を開催し、受入プログラムを検討
- ・ 8月下旬～9月上旬に実施予定

④ 県外在住の学生に対し、県内企業でのインターンシップ参加に係る経費を助成

- ・ 実働3日以上インターンシップ参加が条件
- ・ 1人4万円上限（交通費・宿泊費が対象）

(2) 上伊那地区における就職準備合宿（大学生と上伊那地域企業との交流促進）

① 実施主体

- ・ 上伊那地域若者人材確保連携協議会  
（上伊那地域の経済団体や行政機関など13団体で構成）

② 実施内容

- ・ 上伊那地域への就職に興味のある学生や地元の自動車教習所に通う学生を対象に、就職準備合宿を開催するとともに地元企業との交流会を開催

③ 進捗状況

- ・ 地元企業、県及び市町村で運営チームを立ち上げ、8月の実施に向けて準備中

### 3. 今後の取組

#### (1) 成人式の機会を活用した地元就職の促進

##### ① 目的

県外の大学等へ進学した学生が成人式で帰省するタイミングを活用し、地元の就職情報を提供し、Uターン就職を促す。

##### ② 内容

- ・ 情報提供を希望する者に登録してもらい、地元の就職情報を提供
- ・ 地元企業等の就職相談会、企業訪問ツアーの周知

##### ③ 役割分担

県の役割	・ 事業の構築に当たっての参画・助言 ・ 県内市町村への普及
市町村の役割	・ 関係団体や事業所等と連携して、学生への情報提供 ・ 就職相談会や企業訪問ツアーの周知
産業界の役割	・ 相談会等への参加、企業訪問の受入

##### ④ 課題

- ・ 一市町村でなく、広域的な取組が必要
- ・ 成人式の開催時期（夏、冬）によって、内容を工夫する必要がある
- ・ 成人式当日の情報提供は難しいことから、提供方法等について検討が必要



- ・ 今後、取組を進める市町村と連携して、具体的な取組方法をさらに検討  
・ 取組内容を他地域に情報提供し、県内への波及を図る

#### (2) フィールドワークからはじまる就職、移住・二地域居住の促進

##### ① 目的

県外大学の教員・学生が行うフィールドワーク（または、地域課題を素材とした演習）を誘致し、信州で「学ぶ」「暮らす」「働く」魅力を紹介することにより、就職、移住・二地域居住などの人材定着を目指す。

##### ② 内容

- ・ 信州高等教育支援センターにおいて、県内でフィールドワークを希望する県外の大学と県内受入地域（機関）をマッチング
- ・ 参加学生等に県内企業や地域の情報を提供し、県内への就職につなげる

##### ③ 役割分担

県の役割	・ 受入可能な市町村の照会 ・ 県外大学への情報提供 ・ 連携に適した県内大学への協力要請
市町村の役割	・ 担当窓口の設置 ・ フィールドワークの調査対象箇所の情報提供 ・ 受入支援（宿泊場所の紹介、学生と地域との交流会等）
産業界の役割	・ フィールドワークへの協力



- ・ 平成 28 年 4 月 1 日に「信州高等教育支援センター」を設置  
・ 今後、大学から照会・依頼があった段階で、市町村と連携してフィールドワークを支援